



2010年 第3回勉強会

ボランティアネットワーク作り・・・その先にある物は？

まつもとネットワーク大作戦～Shake Your Hand～



昨年も開催されたまつもとネットワーク大作戦(主催: 新まつもと物語 プロジェクト事務局)
今年も松本政経塾で企画・運営します。

松本市市民活動サポートセンターでは地域で活躍する市民団体のネットワーク作りを目指しています。けれど、なぜ「ネットワークが必要なのか?」「連携を図ることで何が生まれるのか?」そんな、原点といえる疑問から始まり、私たち市民団体が繋がることでどんな効果があるのか?どんな魅力的なまちづくりが出来るのか?そんなところまでつっこんで議論を交わしていきたいと思えます。

日時 22年3月20日(土) 17時～20時30分 場所 〒390-084 松本市大手3-8-13 市民活動サポートセンター
会費 無料

当日は約25名のご参加を頂き盛況に終わりました。

===当日の様子===

松本政経塾は市民団体の一部です。また市民運動の一環としての役割を背負っています。それではなぜ市民運動をしているのでしょうか?そんな疑問を持ったことはありませんか? 今回の勉強会は、市民運動の基本的な観点からの勉強や市民団体が連携することが、なぜ必要なのか!

そして、どのような効果が発生するのか!かなり真剣に勉強をしたつもりです。

発表があり、テーブルワークあり、そして音楽あり・・・の楽しい催しを開催することが出来ました。



勉強会の様子

行政の財政の厳しさから、将来は市民サービスの低下が予想されます。それでは市民サービスの低下を防ぐにはどうしたら良いのでしょうか？方法は2つ・・・市民の負担(税金)を増やすこと、そしてもう一つは市民団体の活躍です。

財政破綻した夕張市の事例をもとに、実際に市民の負担がどれくらい増えたを発表しました。



テーブルワーク

市民団体にはそれぞれの悩みや運営上の問題点があります。

また一つの団体が一生懸命活躍しても、その波及効果には限界があります。そこで、テーブルワークで、課題抽出と問題解決を行いました。「お悩みカード」と「解決カード」を使い、団体同士で知恵を出す試みを行いました。



他都市の事例研究

テーブルワークの後は、まとめを行いました。愛知県刈谷市の事例研究を行いました。[\(資料はこちら\)](#)

先駆的な活動で正直びっくりしました。

また、東京都や愛知県のサポートセンターの役割についても

研究発表を行いました。

その後は皆で懇親会・・・お茶やお菓子で楽しく懇親しました。



MMFスタッフの生演奏を聴きながら・・・

MMFスタッフの生演奏が当日の懇親会を盛り上げて頂きました。小沢さんファミリー（娘さんの詩吟や奥様のボーカル、旦那さんのギター）など、素晴らしい家庭愛を感じる事が出来ました

第1部	<p><u>なぜ今ボランティア団体(市民団体)の力が必要なのか？</u> 地域のボランティア力が・・・その地域力を支える時代になってきました。 しかし・・・現実問題、各団体で様々な悩みもあります。 ボランティアネットワークの現実と将来性を語ってきます。</p>
第2部	<p><u>私たちの出来ることテーブルワーク</u> 一つの団体で活動するだけではもったいない。だから協力できるところをお互いが発表、情報交換することで、自分たちの団体の枠を広げて行きましょう</p>
第3部	<p><u>他都市事例研究</u> 優れた他都市の事例研究は、成功の第一歩。 愛知県刈谷市の事例ほか、松本が学ぶべき事例をベンチマークしました。 まとめでは、市民運動の正否が、地域を豊かなるかしらないかを提言しました。</p>
第3部	<p><u>音楽聴きながら・・・大懇親会</u> 地域を良くしたい・・・そのコンセプトはどの団体にも共通項です。 そんな志をもった皆さんとともに、音楽でも聴きながら、懇親を深めていきたいと思えます。</p>